

(2021年10月24日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
令和3年度（第13回）会計実務検定試験 管理会計
審査基準

【1】

1	2	3	4	5	6
サ	ケ	シ	コ	ウ	ク

【2】

問1

(1) 高低点法による場合

変動費率	固定費
80 円/時間	2,000 円

(2) 最小自乗法による場合

変動費率	固定費
85.4 円/時間	1,632.1 円

問2

(1)	2,720 千円
(2)	1,226 千円
(3)	55 千円（超過）

【3】

問1

(1) 売掛金の回収

44,914,000 円

(2) 支払手形の決済

4,437,000 円

(3) 製造間接費

10,556,000 円

(4) 予算期末有高

1,377,000 円

(5)

見積損益計算書

令和〇3年第1四半期

(単位：円)

	製品T	製品W	合計
売上高	(24,920,000)	(32,400,000)	(57,320,000)
売上原価	(17,800,000)	(21,600,000)	(39,400,000)
売上総利益	<u>(7,120,000)</u>	<u>(10,800,000)</u>	(17,920,000)
販売費			(11,017,000)
一般管理費			(6,179,000)
支払利息			120,000
当期純利益			<u>(604,000)</u>

問2

(1) 売上高予算差異

184,000 円 (有利 ・ 不利)

(2) 変動売上原価価格差異
(単位あたり変動売上原価差異)

167,400 円 (有利 ・ 不利)

(3) 変動販売費数量差異

6,300 円 (有利 ・ 不利)

【4】

直接標準原価計算の損益計算書

(単位：円)

I	売上高			57,380,000
II	標準変動売上原価			
	月初製品棚卸高	(2,688,000)	
	当月製品製造原価	(34,496,000)	
	合計	(37,184,000)	
	月末製品棚卸高	(3,360,000)	(33,824,000)
	標準変動製造マージン			(23,556,000)
III	標準変動販売費			(2,265,000)
	標準貢献利益			(21,291,000)
IV	原価差異			
	材料消費価格差異	(△ 446,000)	
	材料消費数量差異	(280,000)	
	賃率差異	(158,000)	
	作業時間差異	(△ 784,000)	
	(予算差異)	(474,000)	
	能率差異	(△ 336,000)	
	変動販売費差異	(151,000)	(△ 503,000)
	実際貢献利益			(20,788,000)
V	固定費予算額			
	固定製造間接費	(12,480,000)	
	固定販売費及び一般管理費	(3,400,000)	(15,880,000)
VI	固定原価差異			
	固定製造間接費差異	(510,000)	
	固定販売費及び一般管理費差異	(△ 320,000)	(190,000)
	営業利益			(5,098,000)

【5】

	(a)	(b)
(1)	360 万円	540 万円

(2) 180 万円

(3) 690 万円

(4) 正味現在価値が 121.05 万円 であるため

新設備を導入すべきで (ある ・ ない) 。